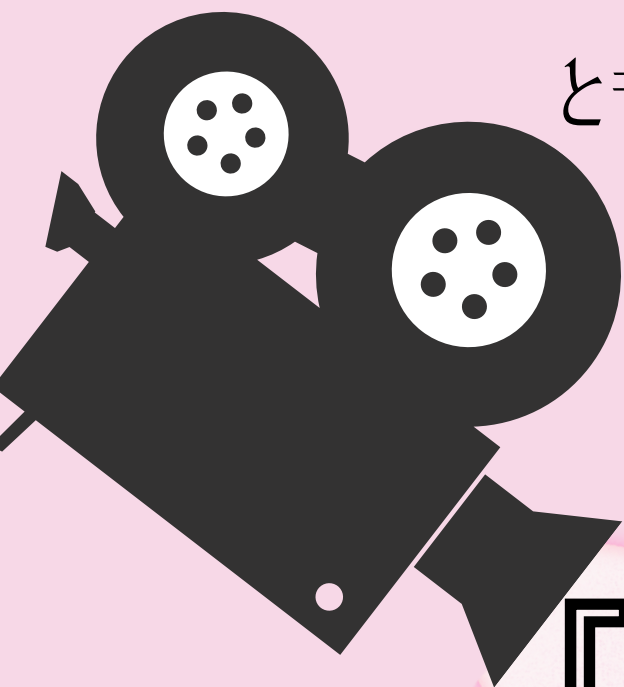




国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025 国際協同組合年事業



ともに生き、ともに働く

——「平和」と「協同」を考える——

‘働く’ってなんだろう？

労働者協同組合法成立記念作品

『医師中村哲の 仕事・働くということ』

上映会 × 座談会



2025年10月4日(土)

第1回13:30/第2回17:30

(各回定員200名)

各回30分前より開場/受付

ジョブキタ北八劇場

「札幌駅」北口より徒歩5分

(地下15番出口直結)

入場料

一般1000円

学生・障がい者 500円

高校生以下 無料



お申し込みQR

事前お申し込み・チケット販売について
詳しくは裏面をご確認ください。



WORKERS'COOP

お問合せ：sapporo.eiga104@gmail.com

主催：労働者協同組合ワーカーズコップ・センター事業団

共催：映画『医師中村哲の仕事・働くということ』札幌上映会実行委員会

一般社団法人 日本社会連帯機構

後援：札幌市 札幌市教育委員会 NPO法人さっぽろ自由学校「遊」

代表挨拶文一本上映会によせてー

今日の社会では経済的貧窮や人口減少に伴い、一次産業・福祉・医療・公共インフラといったエッセンシャルワークの展望がますます見通せなくなっています。持続可能で活力ある未来を考える上で、人々の命や暮らしを育むという根源的な視点に立って、「仕事」や「働く」ということの価値を捉えなおすことの必要性が高まりを見せています。

本上映会では紛争のさなか荒野に住民とともに水路を引き、緑の大地を取り戻していった中村哲さんの軌跡をご覧ください。その姿・言葉・哲学を通し、誰もが内に秘めている、支え合いながらともに働きともに生きていくという「平和」と「協同」の心を、今一度みなさまとともに確かめる契機となりますと幸いです。

あらすじ

アフガニスタンとパキスタンで、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々のために35年にわたり活動を続けた医師・中村哲。干ばつに苦しむ人々のために生涯をかけて、現地の人々と共に、現地の人々のために働いた中村氏のドキュメンタリー。その軌跡を通し、“働く”とは何かを考える。

中村氏は自身の活動について、こう記している。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが、唯一の譲れぬ一線は、『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である。」（中村哲『医者、用水路を拓く』）

上映スケジュール

第1回上映

13:00 開場
13:30 上映
14:25～15:00 座談会

第2回上映

17:00 開場
17:30 上映
18:25～19:00 座談会

本作品上映後、「平和」・「仕事」・「働く」をテーマに座談会を行います。協同労働の現場で働くワーカーズコープの若手組合員や本上映会実行委員が登壇し、来場者のみなさまも交えての意見交流を予定しています。

事前お申し込みについて

本上映会ではお席に限りがあるため、事前お申し込みを承ります。右のQRコード・FAXでのお申し込みが可能です。（お支払いは当日受付にて）また、[道新プレイガイド・教文プレイガイド](#)にてチケット販売も行っております。ぜひお買い求めください。※当日受付も可能です(事前お申し込み・チケット購入済みの方優先)



FAXお申し込み用紙 FAX:011-280-5226

(代表者様) お名前：	希望時間に○ 観覧希望： 13:30・17:30
同行者様： 名	お電話番号：